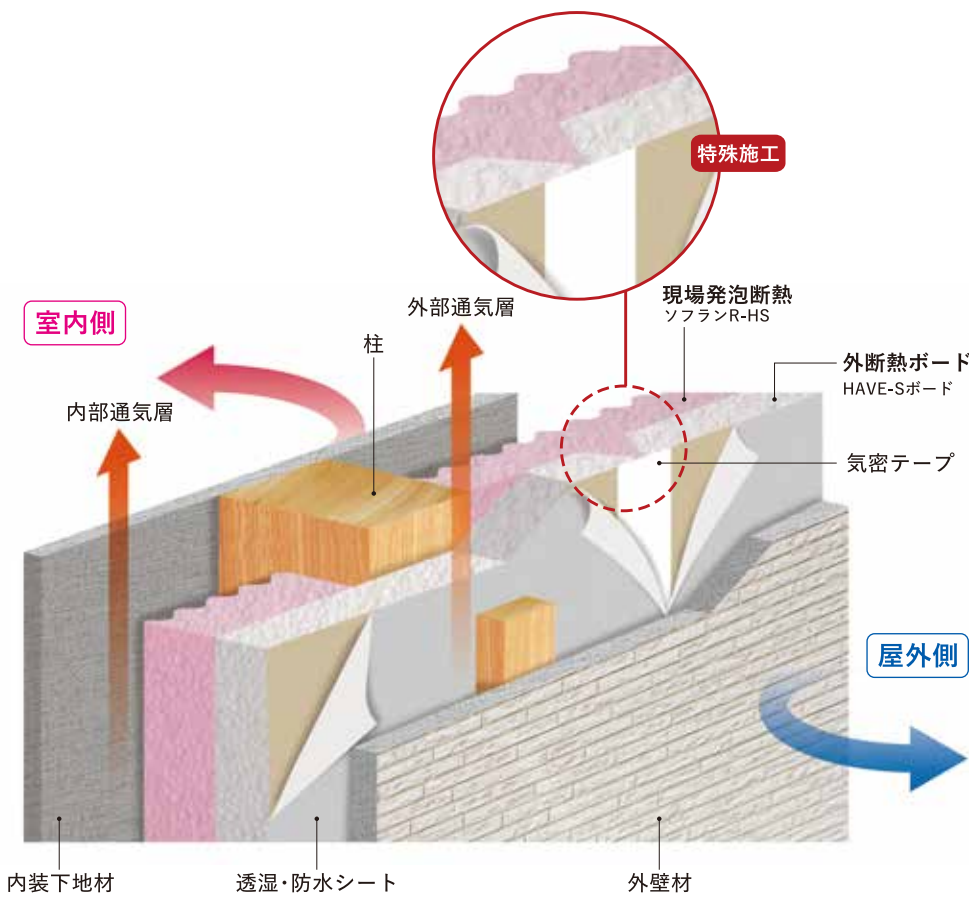


断熱気密性能



HAVE-S工法 構造断熱図

外断熱HAVE-Sボード + 現場発泡断熱



外断熱HAVE-Sボード



HAVE-S専用 HAVE-Sボード (0.020W/m・k)

現場発泡断熱



HAVE-S専用 ソフランR-HS (0.026W/m・k) 難燃3級品

ずっと長く住む家だから、断熱性・気密性はもちろん耐久性にも優れた工法で、いつまでも暖かく。

HAVE-S工法は、柱の外側に外断熱HAVE-Sボード(自社工法専用断熱材)を施工後、内側より現場発泡断熱材ソフランR-HSを吹き付け施工することにより、高い断熱・気密性能を確保します。

一般の外断熱材は経年劣化により痩せが起き、断熱欠損が起きる可能性があります。HAVE-S工法は、外断熱ボードのつなぎ目を斜めにカットしV字につき合わせ、内側から現場発泡断熱材を吹き付けする際、V字カットにも充填。吹き付け施工により、外断熱ボードと現場発泡断熱材を一体化することで、痩せを起こりづらくしています。

また、現場発泡断熱材は吹き付け時は液体のため、構造体のすみずみにまで入り、即発泡し高い接着性もあり、断熱施工と同時に気密施工も行い高气密を確保。全棟気密測定を実施し気密性を確認します。(当社気密性平均値:C値0.3cm²/m²)

さらに現場発泡断熱材は、発泡後表面に硬いスキン層ができ、経年劣化による痩せが起きにくく施工時の高性能を長期に維持できます。

日本は「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を目指しています。

主な指標

- 住宅及び小規模建築物の省エネルギー基準への適合の義務化(2025年度までに実施)
- 新築住宅のZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保(2030年度以降)



「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとなることを目指した住宅」です。

HAVE-S工法は、UA値0.35W/(m²・K)

UA値(外皮平均熱貫流率)

日沼工務店 **0.35W/m²K**

地域推奨値 **0.56W/m²K**

$$UA値 [W/(m^2 \cdot K)] = \frac{\text{単位温度差あたりの総熱損失量}}{\text{外皮表面積}}$$

C値(相当隙間面積)

日沼工務店 **0.3cm²/m²**

地域推奨値 **2cm²/m²**

※外皮平均熱貫流率：室内と外気の熱の出入りのしやすさの指標。値が小さいほど熱が入りしにくく、断熱性が高いことを示します。

地域区分	1・2地域	3地域	4地域	5～7地域
ZEH基準	0.40	0.50	0.60	0.60
省エネ基準	0.46	0.56	0.75	0.87

秋田市

※C値：建物にどのくらいのすき間があるかを表した数値で数値が小さいほど建物の気密がすぐれていることとなります。

日沼工務店では、全棟気密測定を行い、**確実な高气密住宅としてお客様にお引き渡ししています。**

